

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）

- A：十分達成できている
- B：おおむね達成できている
- C：やや不十分である
- D：不十分である

学校名	佐賀市立西川副小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	・一人一台端末を中心としたＩＣＴの効果的な活用を通して授業改善に取り組んできたところ、「主体的に学びに向かう姿」や「粘り強く学習に取り組む力」についての伸びが見られた。ほとんどの職員がＩＣＴの活用に自信を深め、授業づくりに取り入れることができるようになってきた。 ・人権・同和教育、道徳の学習、異学年による縦割り班活動、体験活動などをバランスよくちりばめ、心の教育を推進することができた。いじめの早期発見、早期対応に向けて体制の強化や取り組みの見直しなどを行ってきた。学習のきまりや生活のきまりの指導では「共通理解・共通実践」を合言葉に職員間の温度差が出ないようにすることができた。 ・郷土を愛する児童を育てるため、保護者や地域と連携した行事や学習を多く取り入れている。ＰＴＡや公民館、まちづくり協議会、老人会等と連携を取りながら、行事の精選や活動内容の見直しを進めることで、実態に応じたものになってきた。今後も、コミュニティースクールを視野に入れて取り組んでいく。
------------------	---

2 学校教育目標	「自分らしく主体的に学び続ける児童の育成 ～かしこく、やさしく、たくましく、笑顔輝く西つ子～」
----------	---

3 本年度の重点目標	・道徳教育推進に向かう校内体制づくりと試行的授業実践。 ・特別支援教育の理解とＩＣＴを活用した個別最適な学習の実践。 ・運営委員会やミドルリーダーを中心とした業務改善の推進と若手育成。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践 ○学習規律の徹底	○標準テスト(国・算)で、年度当初の平均点より5ポイント上げる。 ○児童アンケートで「3時間目の始まる2分前に着席する」で「できた」と回答する児童が90%以上。	・年2回、児童アンケートを実施し、結果の分析を行い、授業の改善に生かしていく。 ・児童への意識付けをする重点週間を設ける。		・		・		・	まなび部	
	○個別最適な学習に向かうICTの効果的な活用	○職員アンケートで「ICTを効果的に活用し、授業づくりに取り組んでいる」に肯定的に回答する職員80%以上。 ○児童アンケートでタブレット端末の使用に関する項目で肯定的に回答する児童80%以上。	・ICTの効果的な活用についての研修会2か月に1回程度行う。							ICT部	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○年2回児童アンケート実施し、肯定的な回答をした児童85%以上。	・児童アンケートを実施し、その結果を全職員で分析し共通理解を深め、教育活動に生かしていく。		・		・		・	こころ部	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていと回答した教員90%(3学期実施)以上。	・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回行う。 ・月1回の生活アンケートの実施 ・定期的に生徒指導に関する情報交換会の実施		・		・		・	こころ部	
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童85%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童85%以上。 ○「自分が住む佐賀が好き」と肯定的な回答をした児童85%以上。	・地域や保護者と連携した学校行事や学年行事の実施。 ・生活科や総合的な学習、各教科での単元学習の中での取り組み。 ・各種体験活動では、児童に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。		・		・		・	まなび部	
	○相手のことを思いやる心を育む道徳教育の推進	○相互に参観する授業を年に1回以上実施する。	・児童アンケートを実施し、その結果を全職員で共通理解する。 ・道徳の授業に道徳ノートを取り入れる。		・		・		・	まなび部	
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	●規則正しい生活習慣「早寝早起」の啓発・推進をする。 ○「早寝早起ができています」と回答した児童が85%以上。	・保健便りや生活のきまり、全校・学年集会等での啓発に取組む。 ・家庭学習がんばろう週間での啓発をする。		・		・		・	からだ部	
	○安全に関する資質・能力の育成	○児童の交通事故を0(ゼロ)にする。 ○「交通安全に気を付けている。」と回答した児童が85%以上。	・5月に交通安全教室を実施する。 ・全校朝会、学年朝会、集会活動などの場で、必要に応じて交通安全に関する啓発を行う。 ・下校時の職員による見回りの実施(月に1回程度、特別校時の時等)		・		・		・	からだ部	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ・業務改善について話し合う時間を前期、後期で設定する。		・		・		・	管理職	
	○働きやすい職場環境づくりの促進	○職員の声を生かしながら働きやすい職場環境づくりに取り組み、職場環境満足度90%(3学期実施)を目指す。 ○年休がとりやすいように会議の回数や出席者を見直す。	・上期、下期に職場アンケートを実施する。		・		・		・	管理職	
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員90%以上。 ○交流学級内における入級児童の気持ちに寄り添った接し方を意識していると考える職員90%以上。	・特別支援教育に関する研修会や公開授業の実施 ・ケース会議の開催、情報共有 ・SC、SSW、SSFや外部機関の活用による教育相談体制の充実を図る。		・		・		・	こころ部 特別支援教育Co	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○防災教育	○防災に対する児童の意識の向上と対応能力の育成	○「災害時に命を守る行動や判断ができる」と回答した児童85%以上。	・各教科や特別活動などを学習の中で防災教育を実施する。 ・年間を通しての避難訓練等の実施、講師による講演等を通して意識を高める。		・		・		・	からだ部	
○情報モラル教育	○情報モラル教育の推進と環境整備の向上	○月に1回程度、情報モラルに関する啓発活動。 ○SNS利用時について家庭での約束作りをし、守っている児童が90%以上。	・毎月「ネット社会の歩き方」の動画視聴を行い、情報モラルについての啓発を行う。 ・「家庭学習がんばろう週間」に児童が記入するSNS利用に関する家庭での約束項目を設け、その遂行状況を把握し、対応にいかす。		・		・		・	ICT部	
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育											

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------